

全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

～2009年7-9月期実績、10-12月期および2010年1-3月期見通し～

中小企業の景況は、厳しい状況ながら、一部に持ち直しの動きがみられる

日本政策金融公庫・総合研究所は、10月22日「全国中小企業動向調査結果(2009年7-9月期実績、2009年10-12月期以降見通し)」を発表した。
「全国中小企業動向調査結果」によると、2009年7-9月までの中小企業の景況は、「厳しい状況ながら、一部に持ち直しの動きが見られる」との調査結果報告がなされた。

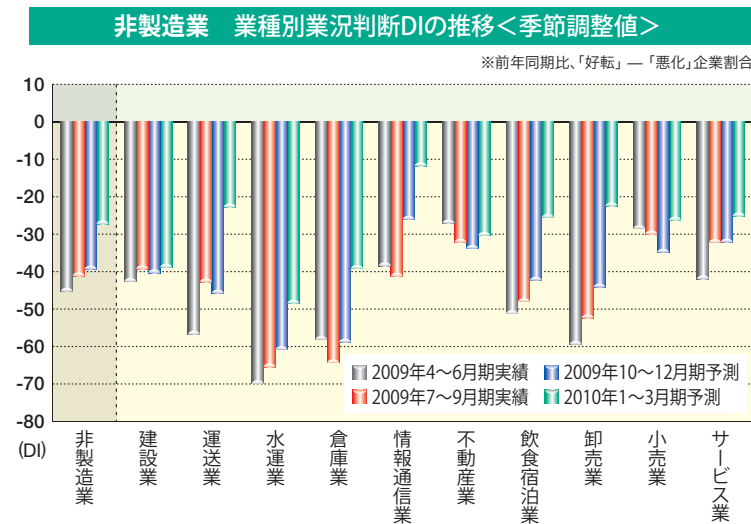
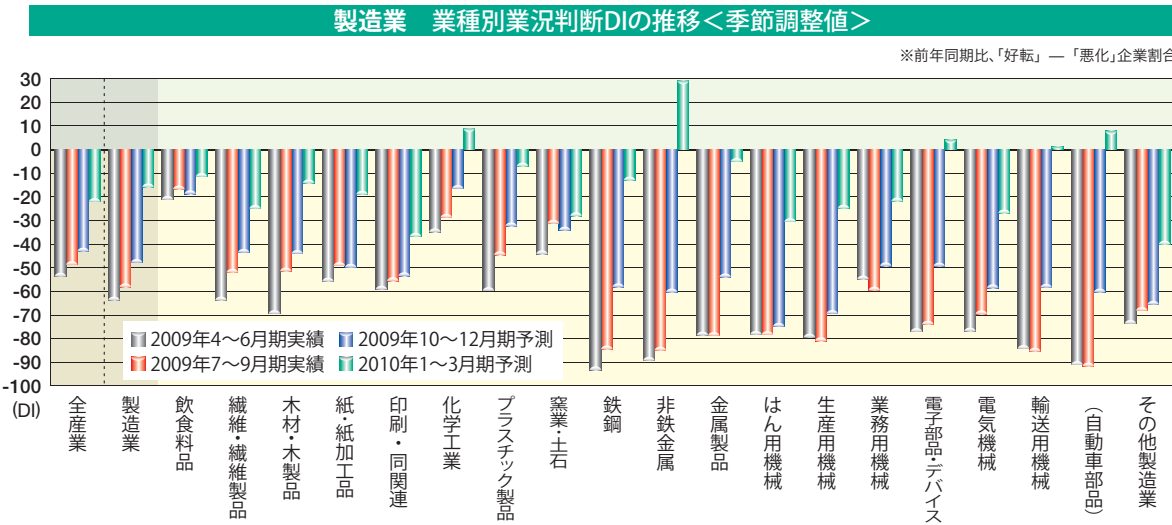
今回調査のポイント

- ① 業況判断DI**
▲48.8と非常に低い水準ながら、マイナス幅はやや縮小している。
- ② 売上げDI**
▲55.6と非常に低い水準ながら、マイナス幅はやや縮小している。
- ③ 価格DI**
販売価格DIは大幅なマイナスが続き、仕入価格DIは2期連続でマイナスとなった。
- ④ 純益率DI**
2007年1-3月期以来10期ぶりにマイナス幅が縮小した。
- ⑤ 設備投資実施企業割合**
3期連続で20%を下回る極めて低い水準となった。

動き2

業種別業況判断

● 製造業…非鉄金属、自動車部品などで非常に低い水準。
● 非製造業…物流関連で非常に低い水準。



● 製造業
製造業では、機械関連や素材関連業種を中心に、引き続き大幅なマイナスが続いている。先行きについては、2010年1-3月にかけて、非鉄金属、化学工業、自動車部品などでプラスに転じる見通しとなっている。

● 非製造業
非製造業では、水運業、倉庫業が▲60台となるなど、物流関連で低い水準が続いている。

動き1

業況判断
▲53.7
↓
▲48.8
UP

非常に低い水準ながら、マイナス幅はやや縮小。先行きも縮小の見通し。

● 現状
業況判断DI(前年同期比、「好転」―「悪化」企業割合)は、▲48.8と非常に低い水準ながら、マイナス幅はやや縮小した。マイナス幅の縮小は2期連続。

● 見通し
先行きについては、2010年1-3月にかけて、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

DATA

- 調査時点
2009年9月中・下旬
- 調査対象
当公庫中小企業事業取引先 12,796社
- 有効回答企業数
6,163社(回答率48.2%)

DI(ディフュージョン・インデックス)

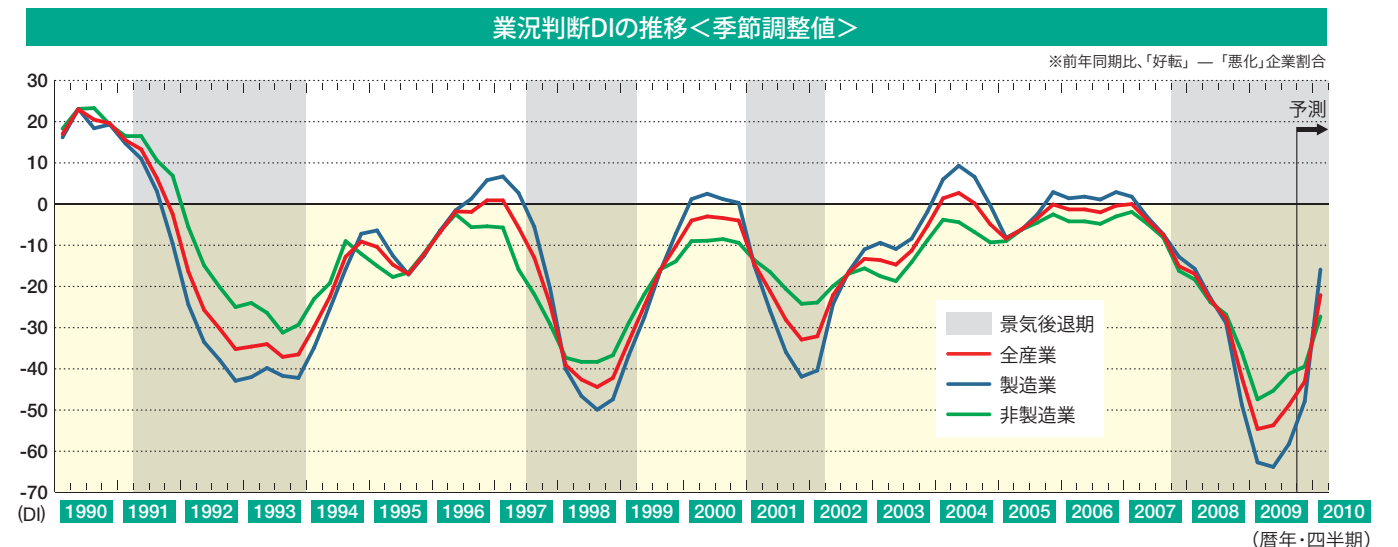
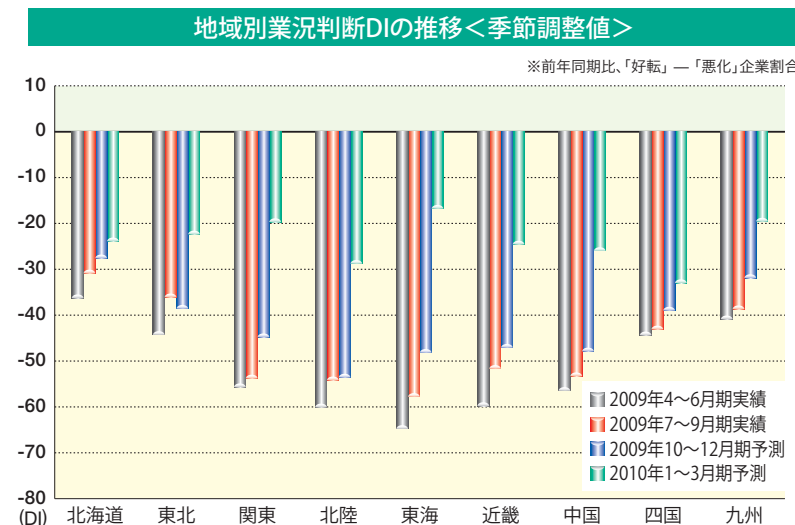
当調査のDI(ディフュージョン・インデックス)は、回答結果の分散度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合の差をDIとしています。DIは基本的に「変化の方向」を表すものです。

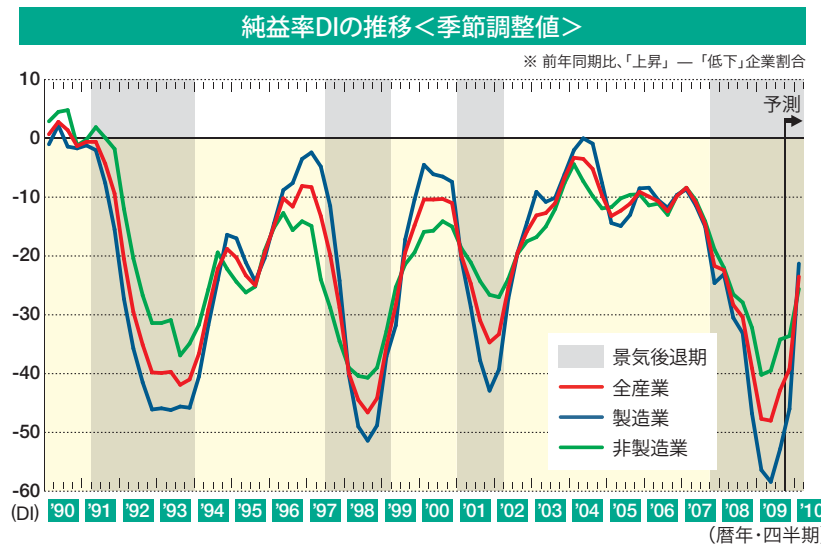
動き3

地域別業況判断

全ての地域で非常に低い水準。

全ての地域で非常に低い水準が続いている。先行きについては、2010年1-3月にかけて、機械関連業種の回答割合が高い東海、関東などを中心に、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。





純益率DI(前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合)は、2007年1―3月期以来10期ぶりにマイナス幅が縮小した。先行きについては、2010年1―3月にかけて、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

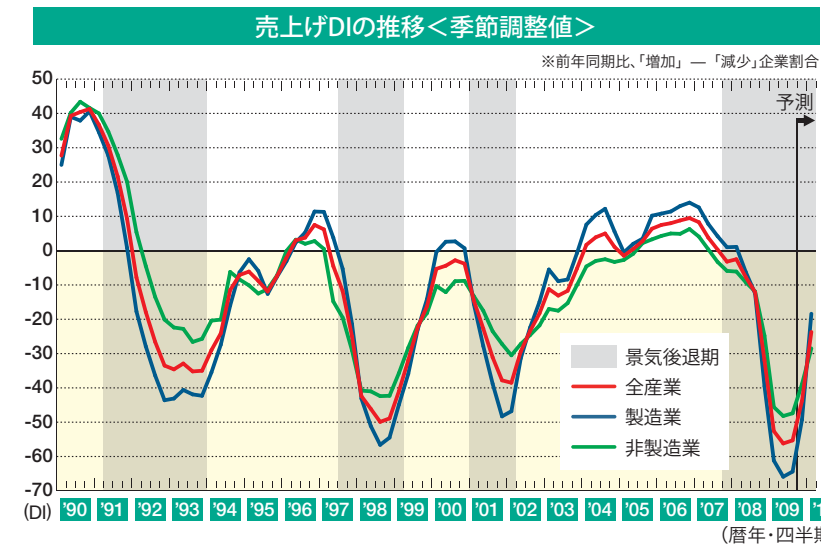
動き7

利益

▲48.0
↓
▲42.8

UP

非常に低い水準ながら、
マイナス幅はやや縮小。



売上げDI(前年同期比、「増加」―「減少」企業割合)は、▲55.6となり、前期の過去最低の水準からは、マイナス幅がやや縮小した。先行きについては、2010年1―3月にかけて、マイナス幅が縮小する見通しとなっている。

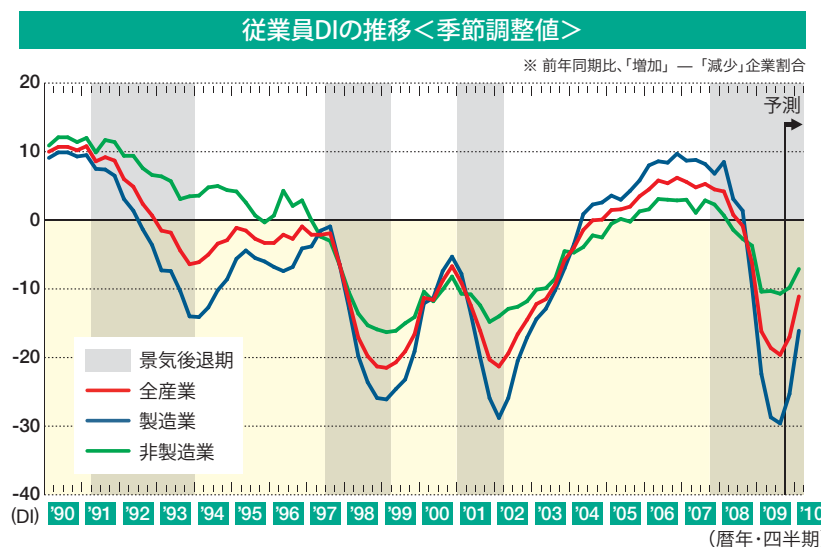
動き4

売上げ

▲56.2
↓
▲55.6

UP

非常に低い水準ながら、
マイナス幅はやや縮小。



従業員DI(前年同期比、「増加」―「減少」企業割合)は、▲19.6となり、マイナス幅が拡大している。

動き8

雇用

▲18.6
↓
▲19.6

DOWN

4期連続でマイナス幅拡大。

全国中小企業動向調査 (中小企業編)について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、当公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以来3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野において我が国を代表するビジネスサーベイのひとつとして、関係各位から高い評価を得ています。

仕入価格DI(前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合)は、2期連続でマイナスとなり、マイナス幅は拡大した。先行きについては、2期先でプラスに転じる見通しとなっている。

動き6

仕入価格

▲13.1
↓
▲13.9

DOWN

2期連続でマイナスとなる。

販売価格DI(前年同期比、「上昇」―「低下」企業割合)は、3期連続でマイナス幅が拡大した。

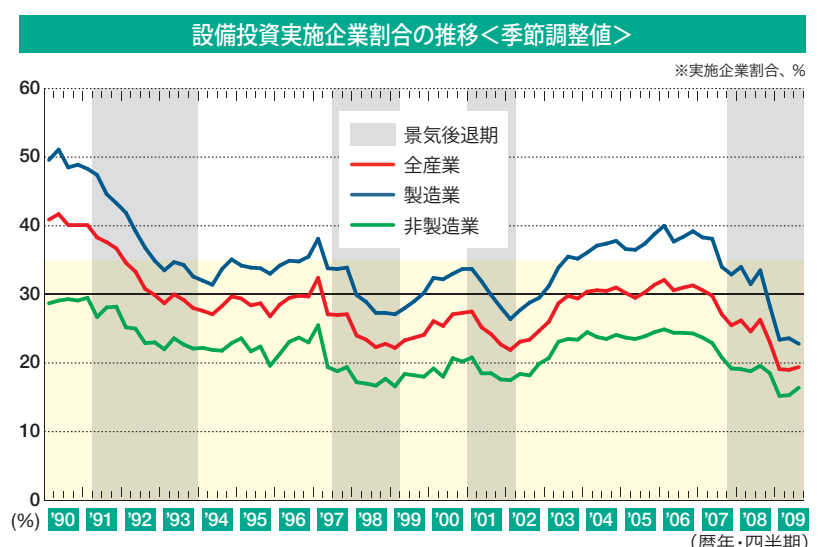
動き5

販売価格

▲34.3
↓
▲38.7

DOWN

大幅なマイナスが続く。



設備投資実施企業割合は19.4%となり、前期の過去最低の水準からマイナス幅は縮小したものの、3期連続で20%を下回る非常に低い水準となった。

動き9

設備投資実施企業割合

▲19.0
↓
▲19.4

UP

非常に低い水準が続く。

